

第 8 回 十和村史続編編集委員会 議事録

1. 日 時 令和 7 年 6 月 24 日 (火) 13:30-16:25

2. 場 所 十和地域振興局2階第1会議室

3. 出席者 委員長 岡本 順一
副委員長 芝 瑞穂
委員 酒井 寿哉
委員 仲 治幸
委員 吉川 耕司

欠席者 委員 山本 美知代

事務局(十和地域振興局町民生活課)

課長 池田 康人
副課長 川下 房代
主査 吉良 正史

受託業者(株式会社ぎょうせい)

藤山 氏
竹田 氏
北井 氏(オンライン参加)

4. 議 事

事務局 : それでは定刻になりましたので、ただいまより第 8 回十和村史続編編集委員会を開会いたします。

では開会にあたりまして、岡本委員長より一言ご挨拶をお願いします。

(岡本委員長より挨拶)

事務局 : ありがとうございます。本日は山本委員より欠席の連絡をいただいております。またぎょうせいさんより2名参加と、後ほどオンラインで1名参加する予定です。そして、4月1日付の人事異動により委員と事務局が変わりましたので、それぞれ自己紹介をお願いします。

(新委員、新事務局の自己紹介)

事務局 : よろしくお願ひします。それでは議事に入る前に資料を確認します。

(事務局より資料の確認)

事務局 : また前回の会より原稿の確認作業に入っていますが、原稿についてはそれぞれ 2

回確認するようになります。今回委員会で確認したものをぎょうせいさんの方で修正していただき、それを再度委員会で確認してあらかたの原稿が仕上がるという流れになります。

藤山氏 : その後は実際の印刷文字にして皆様にご提出します。この段階でも修正は可能ですので、間違い等があればおっしゃっていただければと思います。

岡本委員長 : それでは議事に入ります。まず議題1の原稿内容確認について、事務局より説明をお願いします。

事務局 : はい。まずは前回の会で確認した第1章の内容について確認したいと思います。「第1節 行政」の中に「議会」の項目が含まれていますが、これは「議会」を別立てにした方がいいのではと思います。二元代表制の観点からしても、行政の中に議会が含まれるのはおかしいと思われますがいかがでしょうか。

岡本委員長 : 「第1節 行政」、「第2節 議会」となるでしょうか？

事務局 : そのようなと思います。

岡本委員長 : はい。それでいいと思います。

事務局 : また議会に関連して、議会だよりの記事が掲載されていませんでしたので、追加で掲載したいと思います。

委員一同 : はい。

事務局 : 続いて「第2章 社会基盤整備」の原稿を確認したいと思います。
まずP.2 十川駅の項目の中で、「階段を上るとホーム若井駅寄りに至ります。」とありますがこれはどういった意味でしょうか？

北井氏 : この書き方ではわかりにくいので「階段を上るとホームに至ります。」に修正したいと思います。

事務局 : はい。続いて土佐昭和駅の項目で、「駅前の観光案内所で切符の受託販売をしていた」とありますが、十川駅でも同様に受託販売をしていたようなので、それを含めた書き方にしてはどうかと思います。

藤山氏 : 十川駅と土佐昭和駅でそれぞれに書いた方がいいでしょうか？

吉川委員 : もしくは、最後にまとめる形で、「両駅とも駅前の観光案内所で切符の受託販売をしていました。」とした方がいいと思います。

藤山氏 : そのように修正します。

事務局 : 次にP.4 のバスの乗車密度の計算について、文章だけの説明だとわかりにくいので、イラストや図を入れた方がわかりやすくなると思われますが。

北井氏 : イラスト等を入れて作成してみます。

- 事務局 : お願いします。続いて過疎バスと代替バスについて、同じバスという意味かどうかですが分かる方いらっしゃいますか？
- 仲委員 : 国鉄の代替バス以外に、駅から離れた集落のためにその集落から駅まで運ぶバスが運行されていたように思う。
- 事務局 : こちらについては当時のバス会社等にも確認したいと思います。
次に P.5 からのケーブルについての内容について確認をします。
- 仲委員 : 本文を見ると、「ケーブルシステム」という表記のほかに「ケーブルテレビシステム」という表記も出てくるので、「ケーブルシステム」に統一すればいいと思う。
- 北井氏 : 「ケーブルシステム」という言葉にはテレビの事も含まれているので、「ケーブルシステム」に表記を統一したいと思います。
- 事務局 : 同じケーブルの項目で「〇年〇月には住民向けに事業説明会を開催し…」とありますが開催日はわかりますか？
- 吉川委員 : 確か平成 10 年頃だったと思うが月までは覚えていない。日付も不明なのでこの文言自体を全て削除してもいい気がするが…。
- 北井氏 : 私としては、しっかりと住民説明会を行ったうえで事業を進めてきたということが伝わった方がいいと思うので、「事前に住民向けに事業説明会を開催し…」と修正すればどうかと思います。
- 吉川委員 : その方がより伝わりやすいのでいいと思います。
- 仲委員 : 「四万十ケーブルテレビの開局式を迎えました。」とありますが、この名前は愛称ですか？
- 吉川委員 : そうです。公募によりケーブルの愛称を決めました。となると、前段のケーブルシステムの表記と混合してわかりにくくなるので、「また公募により愛称は『四万十ケーブルテレビ』となりました。」という文言を追加してはどうでしょうか。
- 仲委員 : それでいいと思います。
- 事務局 : はい。次に P.10 の川平トンネルの防災施設についてですが、トンネルの防災施設とは一体どのようなものでしょうか？
- 北井氏 : 今ネットで調べたところ、トンネルの防災施設には警報装置や消火設備、避難誘導設備などがあり、トンネルの規模によって必要な設備が違ってくとのことでした。
- 事務局 : わかりました。では川平トンネルにどのような設備が備わっているか県土木に確認します。
次に P.18 のこのぼり公園の整備内容についてですが、「約 12,000 m²の自然植物園、2 か所の釣り堀、カヌー練習池」とありますが、これらは実際に整備されたのでしょうか？

- 酒井委員 : 昔カヌーの練習をこいのぼり公園で行ったことはあったが・・。
- 北井氏 : 現状としてこの施設は残っているのでしょうか？
- 事務局 : 現状は残っていない。ただ当初は整備されてその後なくなったのか、当初からなかったのかはわからない。
- 岡本委員長 : おそらく当初の計画としてはあったが、実際には整備されていないのでこの文言は削除していいと思います。
- 藤山氏 : そのようにします。
- 事務局 : 次に P.19 の公営住宅の管理戸数について、合併前の平成 17 年度時点の資料がありましたので、そちらを記載すればと思います。
続いて P.21 の耐震診断・耐震改修についてですが、耐震診断については平成 16 年度と 17 年度に行っていたようですが、耐震改修については確認できませんでした。当時は行っていたのでしょうか？
- 仲委員 : 昔の建物(昭和 56 年以前のもの)については撤去もしていたので、この頃に耐震改修は行っていないと思う。
- 事務局 : わかりました。最後に、平成 17 年度時点での公営住宅等の一覧表を付けていますのでご確認をお願いします。以上で第 2 章の原稿確認は終わります。
続いて「第 3 章 環境」の原稿を確認したいと思います。まず P.2 の清掃センターについて、一日の処理能力が 5 トン(その後 8 トンに向上)とありますが、主要施策成果説明書を見ていくとずっと 4 トンのままでしたので、処理能力は 4 トンでいいかと思います。
- 藤山氏 : そのようにします。
- 事務局 : 次に P.6 のごみの分別について、カタカナの「ビン」とひらがなの「びん」が混在しています。ここはカタカナの「ビン」に統一すればいいとは思いますが、この場合カタカナ若しくはひらがなで表記するルールがあるのでしょうか？
- 北井氏 : 自治体によっては両方使っていたりするところもあり、特に明確なルールはありません。ですのでカタカナの「ビン」に統一していいと思います。
- 事務局 : わかりました。では次 P.8 に「婦人会からの提案によりエコバッグを全世帯に配布・・・」とありますが、実際のところはどうか？
- 酒井委員 : この頃は婦人会だけでなく文化協会や色々な団体がエコバッグを配布していた。
- 北井氏 : それであれば、「婦人会等の提案により・・・」に修正したいと思います。
- 事務局 : はい。続いて P.9 のごみ処理経費について、窪川町・大正町・十和村の 3 町村の平均と十和村を比べていますが、平均ではなく 3 町村それぞれで比較した方がわかりやすいのではないのでしょうか？

岡本委員長 : それぞれの比較でいいと思います。

藤山氏 : わかりました。そのように修正します。

事務局 : はい。続いて P.12 の水道事業について、2004 年度の水道の状況が書かれていますが合併前の 2005 年度の資料がありますので、その内容で修正をお願いします。

藤山氏 : はい。

事務局 : そうなると前文で 1991 年度の水道普及率約 85% の記載がありますが、2005 年度の普及率とほぼ一緒なので前文は削除してはどうかと思いますが。

岡本委員長 : 普及率に変化がないのであれば除けてもいいと思います。

藤山氏 : わかりました。それで修正します。

岡本委員長 : ちなみに P.13 の簡易水道事業の沿革で、「河川簡易水道災害復旧工事」とありますが、河川ですか？河内ではないでしょうか？

事務局 : 確認します。次に P.15 の水道料金の推移についてですが、合併前の料金については確認できましたがそれ以前の料金については確認できていません。またわかり次第資料を提出します。

藤山氏 : よろしくをお願いします。

事務局 : 続いて P.16 の飲料水供給施設について、鍋谷以外に久保川や八木にもあったそうですが、両施設の詳細が分かりません。また久保川と八木以外にも施設はあったと思われますがどの地区にあったかわかっていません。そうなるとこの文言はいかがでしょうか？

吉川委員 : 資料もなく確認が出来ないのであれば文言を削除してもいいのではないのでしょうか。

北井氏 : ひとつ案として、「かつては久保川や八木等にも飲料水供給施設はありましたが、現在では簡易水道に統合されています」という風に一文加えてはどうでしょうか。

委員一同 : それでいいと思います。

藤山氏 : そのように修正いたします。

事務局 : はい。続いて P.19 の四万十川方式の説明については、もう少し詳しく書いてはどうかと思いますが。説明文の事務局案を載せていますのでご確認いただければと思います。

酒井委員 : 枯れ木というのはどういうものでしょうか？

岡本委員長 : シイタケのほだ木の事だと思います。十和村はシイタケの生産地という事もありほ

だ木の枯れたものを四万十川方式に活用していたことがあったように思います。ですので「枯れ木」を「ほだ木」に修正した方がいいかなと思います。

藤山氏 : わかりました。それで修正します。

事務局 : 次に P.24 に家地川ダム撤去運動の記事がありますが、それより前に津賀ダム撤去運動も行われていたようです。昭和 62 年頃の出来事ですので、今回の村史続編に載せてはどうかと思います。

藤山氏 : ではまた資料提供をお願いします。

事務局 : わかりました。後日提供いたします。
続いて P.27 の四万十川一斉清掃について。これについては現在でも続いている取り組みなので、そのことに触れてもいいかなと思いますがどうでしょうか？

岡本委員長 : いいと思います。

藤山氏 : では現在の取り組みについても追記するようにします。

事務局 : 最後に「第 6 節 地球温暖化対策」についてですが、太陽光発電システムの普及という事で昭和 60 年頃の記事が載っており、窪川荘と四万十荘、開発センターへの太陽光導入の記事が載っています。これ以外で調べたところ、ハイブリッドカー（公用車）購入の記事は確認したが、これ以外の地球温暖化対策に関する記事が確認できませんでした。当時何か整備事業等行っていたのでしょうか？

吉川委員 : 窪川荘に設置されたものは当時は先進的で有名だった。

仲委員 : 開発センターに導入されたものは金額的にも安いので太陽光発電とは違うのではないのでしょうか。確認をしてください。

事務局 : はい。

岡本委員長 : 個人宅への太陽光発電導入の補助は無かったですか？

事務局 : 一度決算書や主要な施策資料を確認します。

吉川委員 : それと昭和保育所と十和の里にも設置してあったと思う。

事務局 : それについても確認します。

北井氏 : 仮に地球温暖化対策の内容が太陽光発電のみであった場合、節のタイトルを「省エネルギー対策」に変えた方が記事の内容とも合ってくるのかなと思います。

吉川委員 : 確かに当時は地球温暖化よりも省エネの時代だったので、その方がしっくりくると思う。

藤山氏 : また内容等調べていただいて、それによって節のタイトルを修正するという事でお願いします。

事務局 : よろしくお願ひします。それでは本日の原稿確認は以上となります。ぎようせいさんから何かありますか？

北井氏 : この後の原稿については、第4章は7月中旬、第5章は8月上旬、第6章は8月下旬を目途に提出する予定ですのでよろしくお願ひします。

事務局 : また原稿届き次第、委員のみなさまにお配りしますので原稿の確認をお願ひいたします。

岡本委員長 : はい。それでは長時間お疲れ様でした。最後に芝副委員長より閉会の挨拶をお願ひします。

(芝副委員長より挨拶)

16:25 終了